

地域・家庭・学校をつなげる新聞!



第5号

# 熊谷ひみつ新聞

Kumagaya Secret Newspaper

社団法人 熊谷青年会議所 15,000部発行  
 熊谷市宮町2-39 熊谷市立商工会館内  
 電話 048-524-0440  
 FAX 048-524-0519  
 http://www.kumagaya-jc.or.jp/

発行 熊谷市 熊谷市教育委員会 熊谷商工会議所  
 印刷 株式会社ピーアイピー 熊谷市筑波1-157-2 電話 048-524-1463

花火のひみつ	1ページ
うちわ祭のひみつ	2ページ
星川のひみつ	3ページ
エコでクールなくまがや夏のひみつ	4ページ



## 熊谷の新発見!



**日本の花火のはじまり**

日本の花火のはじまりを調べてみると、約560年前に今の中国から火薬と火を使って花や水車などを表現する見世物シヨウのようなものが伝わっていたそうです。そして470年前に外国から日本に鉄砲が伝わると、その火薬を使って日本人も花火を作るようになりました。しかし戦の多かったその頃は、戦いに必要な大事な火薬を花火という「遊び」に使う事はほとんどありませんでした。時代劇の舞台にもなっている江戸時代になると、戦もなくなり町に住む人たちの間では花火が流行するようになりました。日本の花火文化はこの頃まさに花開いた形となるわけです。

**熊谷花火大会**

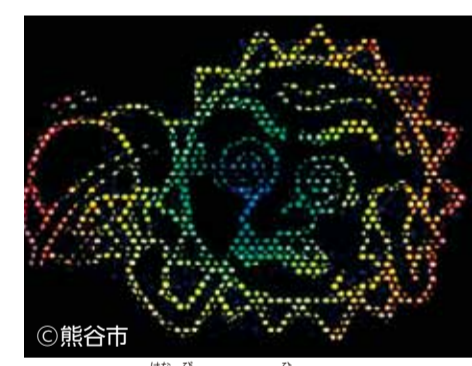
熊谷花火大会といえば、熊谷も負けてはいません。今年で64回目となる「熊谷花火大会」にスポットを当ててみましょう。熊谷花火大会は打ち上げ数約1万発、前回は約35万人の人が集まった県内で一番長い歴史のあるとても大きな花火大会です。第1回目は、昭和23年に戦争からの立ち直りを願って開催されました。

熊谷花火大会の特色は、地元の人や住民の人たちが花火をメッセージと一緒に打ち上げる事です。会社の宣伝だけでなく、家族や友達への感謝の言葉や、時には愛の

**花火のひみつ**

夜空を彩る色とりどりの花火は、いつ見ても心をワクワクさせてくれます。花火は古くからその美しさで多くの人々を楽しませてきました。ここではそんな夏の風物詩である花火のひみつに触れてみましょう。

ありました。吉宗は亡くなった人たちの魂が安らかに眠れるように願いをこめて、東京を流れる隅田川という川で花火を打ち上げました。この花火が、有名な「隅田川花火大会」の始まりとされています。



あつえも花火になる日がくるかも

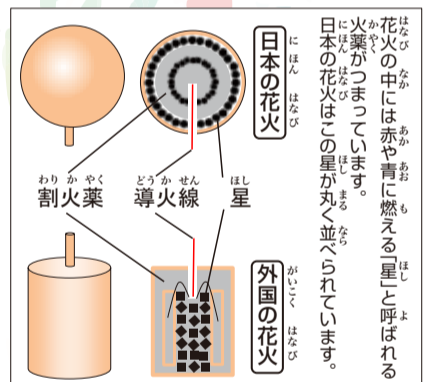
**日本独自の技術**

花火の中には赤や青に燃える星と呼ばれる火薬がつまっています。日本の花火はこの星が丸く並べられています。

**日本の花火** 星、導火線、割火薬

**外国の花火** 星、導火線

夜空に大きな花を咲かせる打ち上げ花火ですが、これは日本独自の進化をしたものです。日本の打ち上げ花火はどこから見ても丸い形ですが、外国の花火はそうではありません。理由として、外国では花火はあくまでシヨウや大会の演出の1つでした。しかし日本では花火自体を楽しむ文化が育ったため、どこからでも花火がきれいに見えるように丸く開く形になったのです。最近では、空中で音を立てながら青色や赤色に変化したり、星の形や顔の形に開くなど色々な花火があります。大きな二つの花火を打ち上げるもの、小さな花火をたくさん打ち上げるもの、花火の種類や大きさはさまざまですが、花火を空の上で爆発させる「割火薬」という火薬と、花火を空高く



告白などを聞くことができます。今年8月10日(土)の開催となります。今回はいつたいたいどんなメッセージが聞けるのでしょうか。

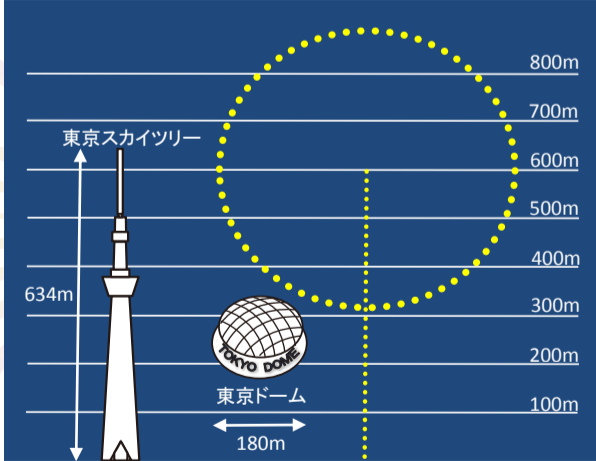
**「たまや〜」「かぎや〜」のかけ声**

みなさんは花火が打ち上がった時に「たまや〜」「かぎや〜」というかけ声を聞いたことはありませんか?これは江戸時代実際にあった2つの花火屋さんの名前で、隅田川の花火大会では、観客がお店の名前を声に出し応援合戦をしていました。現代の花火大会でもこのかけ声が使われるのはその名残なのです。

**花火もコンピューターで打ち上げる**

熊谷市の箱田にある株式会社パイロテックニカさんでは、コンピューターソフトを使って花火の打ち上げを行っています。花火は大量の火薬を使用するため昔から爆発の危険と隣り合わせでした。しかし電氣を使って離れた距離から点火することにより、より安全に花火を打ち上げられるようになりました。

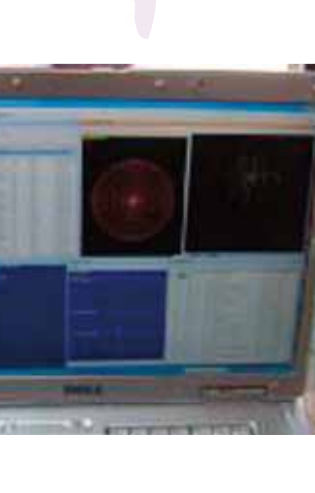
最新の技術では、火薬を使わず



打ち上げるための「発射火薬」という火薬の量や種類を、花火職人が細かく調節して、一番きれいにタイミングよく爆発するようにしているのです。ちなみに、直径約90cmの3尺玉という大きな花火になると、なんと打ち上げの高さは東京スカイツリーとほぼ同じ600mになり、爆発の大きさは550m(東京ドーム約3個分)にもなります。

日本の人たちは、昔から花火を目で見て楽しむと同時に、さまざまな思いや気持ちを花火に込めて打ち上げてきました。みなさんも花火を見るときは、自分の目標や叶えたいことを心に描いてそれが天に届くように花火をお願いしてみたいでしょうか。

(記者…染谷秀樹)



空気の力で打ち上げたり、煙を少なくすることで建物の中などでも花火を楽しめるようになりました。最新の花火は美しさだけでなく、安全や環境のことも考えられているのです。

# 緊急指令!!

# 八坂神社を探せ!!

# 熊谷うちわ祭のひみつ

## 大総代が語るうちわ祭

私がみなさんの年齢の時には今の様に太鼓や鐘を叩くお囃子をすることはできませんでした。当時は市外から専門の叩き手にきてもらっていました。最終日になると八木橋の前で一晩中お囃子を叩いていた大人達の姿を思い出します。

私がうちわ祭に興味を持ったきっかけは、私の住む鎌倉町に八坂神社があったからです。うちわ祭の神様、素戔嗚尊が祀られているのを知ったことがきっかけとなり、どんな神様なのか、他にも神様はあるのか、調べる内に、どんどんうちわ祭に興味を持っていきましました。

みなさんはお家や学校で、何でお祭りを行うのか教えてもらったことはありますか？一言で説明すると、神様に感謝をすることがお祭りです。疫病退散の神様に守られ、今年もお祭りを迎えることができ、元気な姿を神様に見てもらおうのです。

私は縁あってうちわ祭の関係者になれたことで、日本が建国してから二千六百七十三年の間、地域の方々が大切に守ってこられた



八坂神社大祭 熊谷うちわ祭  
平成25年 年番町 鎌倉区  
大総代 大澤孝至さん



日本人の心を伝えていければと思っております。私達、鎌倉町の子ども達には、お囃子の練習の前には必ず八坂神社をお参りしていただきます。お参りすることで、華やかな中にもしつかりと息づく伝統を忘れないで欲しいと願っております。

みなさん、今年のうちわ祭はぜひ、八坂神社へお参りにお出かけください。そして、日本人の大切な心を感じてみてください。熊谷うちわ祭は神様との出会いの場です。  
(記者・出井計多)



写真提供:熊谷市

## 山車と屋台の違い?

山車は一番上から人形がでてきます。屋台は踊り部屋になっている物をさします。山車の上に出てくる人形は町内によって違います。どんな人物が祀られているのか調べてみよう!

# 熊谷うちわ祭

7月20日21日22日開催

## 熊谷市最古の山車が

よみがえる!

本三四の山車は全町の屋台の中で最も古く、本町の中家堂(軍配せんべい)を売っているお店(の初代ご主人が中心となって集まった五百円を基に、東京の神田のお祭り)で使われていた山車を買いに行き、熊谷に初めて山車がやってきたのです。それまでのお祭りはお神輿を担いで町内を回っていました。

近年、歴史ある山車も色々なところが傷みはじめ、この歴史ある山車を残していくために修復が始まりました。

お祭りに関係をしている人や町内に住んでいる約八百世帯の方々(の寄付により、なんと約一千万円が集まりました。今年は山車をバラバラにして、漆を塗り直し、飾りの金具も新しくなりました。ただし、今年で終了ではなく、毎年毎年新しくなっていくそうです。全部きれいになるには、なんと、三千万円はかかるのではないかとおっしゃっています。歴史ある山車を残し、伝えていこうと地域の方々の思いが集まり山車はよみがえるのです。

本来なら漆は雨に弱いので、梅雨が明けるとかどうかの時期に行ううちわ祭には不安もあります。でも、雨が降ったからと山車をしまったままにしているのは毎年楽しみにしている人達をがっかりさせてしまいます。うちわ祭の素晴らしさを伝えることもできません。これはどの地域の山車や屋台でも同じことです。熊谷うちわ祭は関係者だけでなく祭りを楽しむ全ての人達を魅了するのです。



## 本三四のひみつ?

### 山車が五百円?

江戸時代、お米の単位である一石(150kg)は当時の値段で7円でした。今お米は150kgでいくらでしょうか?調べれば、山車の金額が解る?

### なんで漆を塗るの??

雨に弱いなら漆を塗る必要があるの?当時は漆が一番高価な塗り物であることから、神様を大切にすることを示したのだといわれています。実際には漆を塗ることとで木を腐りにくくする効果があります。

## 山車の屋根にニワトリがいる??

朝・昼には屋根にニワトリがいますが、夜はなくなっちゃいます。理由としては鳥目だからだそうです。いなくなる瞬間をみることで、できればいいことがあるかも?  
(記者・棚澤浩二)



写真提供:熊谷市

## 歴史や伝統を

伝えていくために

### 体験ができる?

昔と比べて市内の子どもの数は少なくなり、うちわ祭の伝統を伝えていくことができるのか?これからの課題になってきています。現在、近くの小学校へ出張しお囃子体験会をやっていたり、うちわ祭21日には、コミュニティ広場で誰でもお囃子を体験できます。みなさんも実際に太鼓を叩きにいつてみよう!

### 歴史、伝統を繋ぐ職人

昔、熊谷市は埼玉県で一番、たくさんの人形作りに携わる職人さんがいました。今はなかなか想像できないかもしれませんが、人形の顔や服を作る職人さんが101件もあつたそうです。

熊谷うちわ祭の山車(※人形が出る方だよ)で、第壹本町区、銀座区、荒川区の山車人形は熊谷市で二百年近くも続く人形店、長野屋さんで作られました。長野屋さんには、六代目綱季さん、本名小谷野宏樹さんが二百年近くわたる人形作りの伝統を守り続けています。

みなさんは、山車の人形をよく見たことはありませんか、人形の大きさはなんと約2メートルもあるのです。そして、がっちりとした人形の胴体の中はといいますと、実は空洞なのです。なぜでしょうか?それは、町内の人達のたくさんの方々の思いや気持ちが入るようになってきたのだそうです。そして、綱季さんは今でも古典技法による木目調胡粉仕上げという貝殻を粉末にした胡粉を使用し、一つ一つ気持ちを込めて手作りしております。町内の方々の想いを込めるからこそ、出来上がった人形に同じ顔はなく、一人一人個性があります。みなさん一人

ひとり個性があるのと同じです。両親やおじいちゃん、おばあちゃん大切な思いがみなさんにはたくさん込められているのではないのでしょうか。今も昔も変わらない、その想いを乗せて山車人形は今年もううちわ祭に花を添えます。  
(記者・村松良虎)



人形の長野屋 六代目 綱季さん

### 誇り!

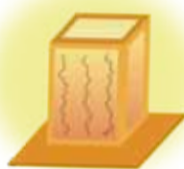
うちわ祭は江戸時代から続いております。いつの時代も参加してもらおう人が楽しく三日間を過ごせるように、訪れた人が「熊谷ってすごいんだなあ」と思ってもらえるように、たくさんの人達が支えています。うちわ祭に関わっている人達は熊谷を誇りに思っているのではないのでしょうか?熊谷のことが大好きなわけではないでしょうか?みなさんは熊谷のことが好きですか? まずは、このうちわ祭から熊谷を好きになってみてください。そして、熊谷を離れても熊谷はこんなに素敵な街なんだと胸を張って話をしてください。



写真提供:熊谷市

とうろう流し

星川のひみつ



とうろう流し

みなさん、熊谷で毎年8月16日の夜の星川で、何が流れているか知っていますか？それはとうろう流しです。戦争でお亡くなりになられた方の御霊を慰めるために、行方不明の方、太平洋戦争が終わって、長い間続けられています。そのとうろう流しと星川について、みなさんにお伝えしたいと思います。

とうろう流してどんなもの？

とうろうとは、漢字で「灯笼」と書きます。それぞれ「灯」あかりという字と「籠」かごという字を書きます。その名の通り、中に火がともしられ、その火が、風などで消えないように、かごでおおうように木枠と紙で囲いをしたものです。

なぜとうろうを流すの？

とうろう流しとは、火を入れたとうろうを川や海に流す行事のことを言います。これはお盆の送り火という行事のひとつです。お盆に帰ってきたご先祖様の御霊を再びあの世へお送りする行事のことを送り火といいますが、送り火には山でやる京都の大文字や、奈良の高円山大文字などが有名です。

星川の歴史って？

星川を知っていましたか？星川は、熊谷市の市街地の中心にあり



現在の星川



星川に行ってみよう！

星川通りを歩いてみると、とてもたくさんのお祭りや山車や屋台が集まるお祭り広場があります。みなさんは見たことありますか？

うちわ

熊谷の夏といえば、うちわ祭もあります。うちわ祭で山車や屋台が集まるお祭り広場があります。車のモザイクアートがあります。車に気を付けながら、探してみてください。



6つの橋

星川には人が通れるだけの小さな橋が6つかかっています。その一つ一つに名前がつけられています。これにもうちわ祭にちなんで名前がつけられています。名前と橋の形を比べてみましょう。

6つの彫刻

星川には、とっても有名な彫刻家が造った彫刻が置かれています。その中には、長崎にある「長崎平和

祈念像」を作った北村西望(きたむら せいぼう)氏の「戦災者慰霊の女神」もあります。実はこの北村西望氏は、JR熊谷駅の北口にある熊谷次郎直実像も作った人なんです。他にもたくさん彫刻があります。



川床体験

私たち熊谷青年会議所が期間限定で星川の上に川床をつくりました。川の上は、風が通るので、とても涼しく気持ちの良い場所です。木のおいするきれいな場所です。是非水辺の良さを味わってください。

水辺での発見

星川には他にもまだまだ色々なものがあります。通り過ぎるだけでは見えないものがたくさんあります。水の中には魚がいたり、川を挟むように、ハナミズキが植えられています。熊谷の夏でも、川のまわりは少し涼しく感じられます。星川に行くと、色々な発見をしてみよう！

(記者：栗原 啓)



太一のおひみつ

みなさん、こんにちは！「太一」のおひみつ担当の岡部太一です。

おかし、ある島にうさぎが住んでいました。ある日、対岸の岬に行きたいと思いましたが泳げません。うさぎはある考えを思いつきました。うさぎはサメに言いました。「サメさん、あなたの家族と私の家族ではどちらが多いと思う？皆をここに集めて、この島からあの岬まで一列に並んでくださいな。私が上を走って数えてあげるわ。そうすれば、どちらが多いかわかるわ。」数日後、すべてのサメが海の上に並びました。うさぎは、数えるふりをしてサメの背中を飛び越えて行きました。そして岬に着くと、うさぎはサメに言いました。「騙されたとも知らず馬鹿なサメさん。ここに来たかっただけよ。おはかさん。」

騙されたと思つたサメはうさぎを捕まえると皮を剥いでしまいました。うさぎは、どうしたらよいかわからず泣いていると、大勢の神様が通りました。神様たちは言いました。「海に入ると乾かすと治るよ。」言われたとおり海に入ると、ものすごい痛さです。うさぎは、どうしたらよいかわからず泣いていると、最後にオオクニニシという神様が通りました。「川の水で体を洗ってガマの粉を振りかけなさい。そうすればよくなりますよ。」言われたとおりになると、うさぎはよくなられた。これは「因幡の白兔」というお話ですが、人より賢いからといって、だましたり馬鹿にしたりしてはいけません。他人の気持ちを思いやることの大切さを感じることが出来ます。

うちわ祭の山車や屋台の中には、このお話に出てくるオオクニニシという神様と白うさぎがいるものや、他にも沢山の神様が人形になっていて、それぞれに神話があるので興味があったら調べてみてね。もし、わからなかったら家族で話し合ってみてください。

(参考文献：古事記)  
社団法人熊谷青年会議所  
理事長 岡部太一  
※子どもに分かりやすくするため、古事記の表記及び内容について簡略化させていただきます。



# エコでクールなくまがや夏のひみつ ～聖天山太郎くんの日～



## 2 AM11:00 昼食～冷や汁うどん作り～



**お母さん**：太郎、冷や汁うどんを作るのを手伝って。すり鉢でゴマと味噌をすってちょうだい。お母さんは薬味のミョウガとキュウリ、シソを刻んでおくわ。お父さんはうどんを切つてゆでてね。ゴマと味噌を熊谷のおいしい水で伸ばして、薬味をいれたら完成!!!

**三人**：いただきます。…おいしい。

**太郎**：夏の暑くて食欲がない日でもおいしく食べられるよね。

**お父さん**：むかしの農家の人が夏場に暑くて食欲がわかないときでも、おいしい食べられるように考えられた料理が冷や汁なんだ。各家庭でもそれぞれ特徴があるぞ。日本各地に冷や汁と呼ばれる料理があって、熊谷の冷や汁とは少し変わっているんだよ。

(記者：伊東輝久)

## 1 AM7:00 夏野菜の収穫～夏野菜のひみつ～



**太郎**：お母さん、おはよう!!

**お母さん**：おはよう!! 太郎、顔を洗ったら庭のグリーンカーテンからキュウリを取ってきて。今日のお昼ご飯は冷や汁うどんよ。

**太郎**：わかったよ。去年からグリーンカーテンを始めたけど、今年は植えるものをいっぱい増やしたよな。

**お母さん**：去年は朝顔とふうせんかずらを観賞用に植えたけど、今年はキュウリ、ゴーヤ、パッションフルーツも植えたのよ。夏バテを防止するのに夏野菜は最適な。ねえ、お父さん。

**お父さん**：そう、夏が旬の野菜には体を冷やす効果があるんだ。キュウリ、ゴーヤ、トマト、ナス、ピーマン、それにスイカなどは、汗をかくと体から失われる水分やミネラルなどを多く含んでいるぞ。汗をいっぱいいたら、夏野菜を食べてみよう。

(記者：伊東輝久)

## 4 PM4:00 星川で夕涼み～うちわのひみつ～

**太郎**：あ、雪くまおいしかった〜! サービス満点のお店だったね。でもまだ外は暑いからうちわであおぎながら行こうよ! …ところでお父さん、うちわって僕が小さい時からあったけど、昔からあったの?

**お父さん**：うちわかい? 日本では古墳時代の頃に「さしぼ」という、うちわの持つところを伸ばしたような形をしたものが中国からきたのが最初で、10世紀頃から小さなさしぼを「うちわ」と呼ぶようになったと言われているんだよ。

**太郎**：ふん。じゃあ、うちわって昔からこうやってパタパタさせて風を送って使うものだったの?

**お父さん**：そうだね。他にも、昔は偉い人たちが顔を隠すのに使ったり、病気とか悪いものを打ち払うといった意味で使っていたらしいけど、今も暑いものを冷ましたり、逆にバーベキューの火を起すのに使ったりと色々な使い方をしているね。絵や文字を書いてお店を宣伝するためにたくさん配っているところもあるぞ。

(記者：原恒介)



## 3 PM3:00 おやつ～雪くまのひみつ～



**小島さん**：今、熊谷は最高気温のまちとして、暑さで注目されています。暑い時に食べたらいよいよ雪くまをまちの中と外にアピールして、熊谷に人を呼び込む目玉にしていきます。

**太郎**：これからどうなっていくんですか?

**小島さん**：今、熊谷は最高気温のまちとして、暑さで注目をされています。暑い時に食べたらいよいよ雪くまをまちの中と外にアピールして、熊谷に人を呼び込む目玉にしていきます。

**太郎**：これからはどうなっていくんですか?

**小島さん**：今、熊谷は最高気温のまちとして、暑さで注目をされています。暑い時に食べたらいよいよ雪くまをまちの中と外にアピールして、熊谷に人を呼び込む目玉にしていきます。

(記者：岡本堅太郎)

**太郎くんは3時のおやつに、熊谷名物のカキ氷「雪くま」を食べにシンソンの洋菓子店さんへ行きました。**

**太郎**：熊谷名物「雪くま」はどんなものですか?

**シンソンの店長の小島さん**：熊谷のおいしい水を使った氷を、専用の特殊な機械を使ってカンナのように薄く削り、お店ごとのオリジナルシロップをかけたカキ氷のことです。雪くまのいいひみつは食べた時に頭がキーンとなるのがほとんどなく、今まで食べたことのない食感が味わえます。

**太郎**：熊谷では、雪くまが食べられるお店が今どれくらいありますか?

**小島さん**：現在25店舗(6月21日時点)ありますが、もっと増やしていきたいですね。しかし「雪くま」として売り出せるのは、厳しい審査会を通過しなくてはならないのですよ。

**太郎**：これからどうなっていくんですか?

**小島さん**：今、熊谷は最高気温のまちとして、暑さで注目をされています。暑い時に食べたらいよいよ雪くまをまちの中と外にアピールして、熊谷に人を呼び込む目玉にしていきます。

## 第1回 熊谷こどもみらい塾 くまがやクールくる館 「たのしく節電♪」マスターしちゃおうの巻 「雪くま」も食べられるよ!

**開催日時** 2013年8月25日(日) 10:30～16:00(15:15受付終了)

**開催場所** 熊谷市立商工会館(市役所の西隣り)

**主催** 社団法人熊谷青年会議所  
担当：みらい開発委員会 中沢  
電話：048-524-0440

**参加無料** **先着500名様**

当日の来場者数の状況は048-524-0440へのご連絡でご確認いただけます。  
※詳しくは社団法人熊谷青年会議所のホームページをご覧ください。  
※お車でお越しの方は、熊谷市役所の駐車場をご利用ください。

もっとクールシェアについて知りたい方は

ありがとうございます。当店のクールシェア特典は「食後のミニデザート」のサービスです。

「クールシェア」って?

フッフ。私をよんだかい?

**COOL SHARE マン**

クールシェアとは、一人一台のエアコン使用をやめて涼しい場所をみんなでシェアする取り組みだよ。「エアコンを止めて来ました!」とクールシェア参加店のお店の人に言ういろいろな特典を受けられることができるんだ。

**レストランホシカワ**

きょう、あついちにちも暑い一日だったけど、エアコンをあまり使わなくてもくまがやのクールシェアで快適に過ごせるんだね。

いるいる勉強になったみたいだね。

すみません、ハンバーグとナポリタン…あ、あと、エアコンを止めて来たんですけど…

**5 PM7:00** 家族で夕食 クールシェアのひみつ

**編集後記**

みなさん、こんにちは。編集長のおじさんです。

いよいよ楽しい夏休みがやってくるね。山へ行ったり、海へ行ったり、色々とお出かけの予定のある人もいると思います。みなさんが住んでいる熊谷市には、残念ながら高い山も広い海もありません。でも、素敵な場所や楽しいイベントがたくさんあります。素敵な人がたくさん住んでいます。だからおじさんは熊谷市のこと大好きです!

今回の「熊谷ひみつ新聞」では、そんな熊谷の夏について取り上げました。今まで当たり前と思って見えてきたものにも、色々なひみつが隠れているんだね。新聞に書いてある事以外にも、熊谷の夏にはどんなことがあるのか、家の人に聞いてみよう。そこへ行ってみよう。そしてどんなひみつがあるのか調べてみよう。色々な体験をして、楽しい思い出がいっぱい詰まった、一生忘れられない夏休みになるといいですね。それでは、次回の第6号でまたお会いしましょう!

編集長 大川正行

**調べてほしいひみつ大募集**

地元熊谷で調べてほしい「ひみつ」を募集しています。ハガキまたはメールにて調べてほしい内容を書いてお送りください。皆様からの新聞に対するご意見もお聞かせ下さい

**応募先**

〒360-0041 熊谷市宮町2-39 熊谷商工会館内  
社団法人 熊谷青年会議所  
熊谷ひみつ新聞「ひみつ大募集」係  
メール: info@kumagaya-jc.or.jp